

A委員

【意見欄】

全体について

第一期の総合戦略は、当初様々な構想が打ち出されていたものの、成果に結びついていない事業がいくつも散見される。制度変更や社会状況の変化に対応するために計画変更ができる体制と内容を準備しておくべきことを提言しておいたが、その点を書いていたと思われる。サーフィンに絡めた諸事業は、今後のまちづくりとの関わりにおいて、早急に見直しが必要と思われる。また、雇用・子育て・地域活性化は、各々において事業が展開されているが、地方創生においては求められる横断的な連携については不十分なので、本格的な展開が期待される。

一宮サーフストリート構想 都市軸の整備

サーフィンと地域経済を結びつける戦略については、方向性・規模・手法を見直しながら、これまでの動きを位置づけるとともに、経済循環（観光・商業・農業）を創出する根本的な柱を打ち立てるべきであると考えます。ハードの構想に対してソフトの構想が弱いところがあるので、オリンピックのレガシーとともに、トータルなコンセプトが必要と思われる。

雇用創出と事業創出

個々の事業展開については一定の評価ができるが、そのベースにおいて、一宮町に相応しい次世代農業のあり方を検討していくことが必要不可欠と思われる。補助金枠組みありきではなく、町の農業戦略の中に位置づけていくことが重要である。6次産業化はあちこちで実践されているが、どのような内容にするのか、改めて調査検討が必要である。

子育て支援と個性ある教育の推進 シティープロモーション

個々の事業展開については一定の評価ができるが、子育て世代が必要とする生活スタイル（結婚・子育て・仕事・住居・趣味）や子どものキャリアアップ（特色ある教育・就労・新たなチャレンジ）を具現化していくストーリーが必要と思われる。子育て世代や子どもたちが何を必要としているのか（どのようなことが魅力的なのか）、それが地域生活においてどのように形にできるのか、地域住民と一緒に考えていくことを期待したい。